

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和3年度第1回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和3年5月27日（木） 14：00～15：30

WEB会議

※ 新型コロナ感染対策により緊急事態宣言中のため、WEB会議に変更した。

令和3年度第1回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和3年度第1回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時

開催日時 令和3年5月27日（木） 14:00～15:30
WEB会議

3 出席委員（五十音順）

酒井 孝子、田籠 亮博、田村 慶子、松田 亨、森江 由美子

4 議事

（1）令和2年度第4四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

（2）令和2年度第4四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和2年度第4四半期に契約をした工事の中から、田村委員が10件（契約課契約分8件、上下水道局分2件）を抽出した。

イ 審議における質疑等

（問） 総合評価、一般競争入札による土木工事で、予定価格が高く、共同企業体であるため、詳しい入札状況を知りたい。

（答） 3年にわたる長期工事で、受注者には経営安定性、資機材の調達能力、資金力が求められる。また、現場周辺の安全対策や振動防止対策など、高度な施工管理が求められる。今回の業者は、入札額も、技術評価も一番高かった共同企業体が落札した。

（問） 総合評価、一般競争入札による建築工事で、予定価格が高いため、詳しい入札状況を知りたい。

（答） 14者から入札参加申し込みがあつて、技術者等の不足のため4者が辞退している。最終的に価格以外の評価点が一位である業者が落札した。価格以外の要素を含めて落札者を決定するという、総合評価落札方式の特徴が現れたケースである。

（問） 一般競争入札による電気工事で、落札率が低いため、詳しい入札状況を知りたい。

（答） 照明器具の割合が大きく、最低制限価格を設けなかったため、企業努力で落札金額が低くなった。

- (問) 一般競争入札による電気工事で、予定価格が高いため、詳しい入札状況を知りたい。
- (答) 最低制限価格があり、この価格を下回った6者が失格となった。最低制限価格付近で多くの業者が競った案件である。
- (問) 一般競争入札による管工事で、予定価格が高いため、詳しい入札状況を知りたい。
- (答) 最低制限価格があり、この価格を下回った3者が失格となった。最低制限価格付近で多くの業者が競った案件である。
- (問) 指名競争入札による機械器具工事で、落札率が低いため、詳しい入札状況を知りたい。
- (答) 9者のうち3者が応札し、各社の企業努力により、競争性が十分に働いて、落札率が低くなった。
- (問) 指名競争入札によるしゅんせつ工事で、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたい。
- (答) 3回目の入札で、15者指名して、4者が応札した。技術者不足等により3回目の入札となったが、設計等を変更し、予定価格も上げたため、落札率が高くなった。
- (問) 随意契約による土木工事で、落札率100%となった経緯を知りたい。
- (答) 先行工事で設置した仮設材の維持管理工事で、契約不適合責任の範囲が不明確となるため、先行工事の受注者である業者と特命随意契約とした。1回目の見積もりでは予定価格の範囲に入らなかったが、2回目の見積もりで予定価格と同額となり決定したため、落札率が100%となった。
- (問) 一般競争入札による電気工事で、業者数が1者のため、詳しい入札状況を知りたい。
- (答) 電気計装設備改良工事で、各設備を監視制御する中央監視設備の機器の大規模な更新を行うものである。既設の設備を稼働しながら切り換えを行っていくというのは非常に難易度の高い工事で、既設のメーカーが圧倒的に有利である。応札が既設メーカーの一者のみのため、落札率が高くなった。
- (問) 指名競争入札による水道施設工事で、業者数が2者のため、詳しい入札状況を知りたい。
- (答) 既存送水管から新設の送水管へ分岐する工事で、専門的な施工技術と豊富な経験が不可欠であるため、本市の名簿登録業者で対応できる2者で指名競争入札を行った。